

2022年 乗務員教育年間計画表

社 長	安統管

月	社 内	社 外
	項 目	
4	<ul style="list-style-type: none"> ・旅客①事業用自動車を運転する場合の心構え ・貨物①事業用自動車を運転する場合の心構え ・[G]バス運転者の労働時間の基準について 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全性評価認定申請(3つ星3回目更新)
5	<ul style="list-style-type: none"> ・旅客②事業用自動車の運行の安全及び旅客の安全を確保するために遵守すべき基本的事項 ・貨物②事業用自動車の運行の安全及び旅客の安全を確保するために遵守すべき基本的事項 ・[B]事故や災害等への遭遇を想定した訓練 	<ul style="list-style-type: none"> ・輸送実績報告書
6	<ul style="list-style-type: none"> ・旅客③事業用自動車の構造上の特性 ・貨物③事業用自動車の構造上の特性 ・[A]デジタコによる勉強会 	<ul style="list-style-type: none"> ・整備管理者選任前研修 (6/27)
7	<ul style="list-style-type: none"> ・旅客④乗車中の旅客の安全を確保するために留意すべき事項 ・貨物④貨物の正しい積載方法 	
8	<ul style="list-style-type: none"> ・旅客⑤旅客が乗降するときの安全を確保するために留意すべき事項 ・貨物⑤過積載の危険性 ・[D]異常気象における対処方法 	<ul style="list-style-type: none"> ・整備管理者選任前研修 (8/22)
9	<ul style="list-style-type: none"> ・旅客⑥主として運行する路線若しくは経路又は営業区域における道路及び交通の状況 ・貨物⑥危険物を運搬する場合に留意すべき事項 ・[A]ドライブレコーダーの映像記録による勉強会 	<ul style="list-style-type: none"> ・運行管理等一般講習カリキュラム ・安全輸送講習会
10	<ul style="list-style-type: none"> ・旅客⑦危険の予測及び回避並びに緊急時における対応方法 ・貨物⑧危険の予測及び回避並びに緊急時における対応方法 ・[C]非常用信号用具、非常口、消火器の取り扱い 	<ul style="list-style-type: none"> ・整備管理者選任前研修 (10/24)
11	<ul style="list-style-type: none"> ・旅客⑧運転者の運転適性に応じた安全運転 ・貨物⑨運転者の運転適性に応じた安全運転 ・[E]飲酒運転防止対策勉強会 	<ul style="list-style-type: none"> ・運輸安全マネジメントガイドラインセミナー (NASVA) ・運輸安全マネジメントリスク管理セミナー (NASVA) ・整備管理者研修 (岩手県トラック協会)
12	<ul style="list-style-type: none"> ・旅客⑩交通事故に関わる運転者の生理的及び心理的要因並びにこれらへの対処方法 ・貨物⑩交通事故に関わる運転者の生理的及び心理的要因並びにこれらへの対処方法 ・[A]デジタコによる勉強会 ・[F]運転の方法及び技術の確認(車種区分：大型) 	<ul style="list-style-type: none"> ・運輸安全マネジメント内部監査セミナー (NASVA) ・事業報告書 ・安全情報報告書
1	<ul style="list-style-type: none"> ・旅客⑪健康管理の重要性 ・貨物⑪健康管理の重要性 ・[F]運転の方法及び技術の確認(車種区分：中型) 	<ul style="list-style-type: none"> ・適性診断活用講座 (NASVA) ・接遇講習会 (岩手県バス協会) ・整備管理者選任前研修 (1/23)
2	<ul style="list-style-type: none"> ・旅客⑫安全性の向上を図るための装置を備える貸切バスの適切な運転方法 ・貨物⑫安全性の向上を図るための装置を備える事業用自動車の適切な運転方法 ・[H]救命救急講習 (盛岡地区広域消防組合) ・[F]運転の方法及び技術の確認(車種区分：小型) 	<ul style="list-style-type: none"> ・バリアフリー教室 (岩手県バス協会) ・訪日外国人報告書
3	<ul style="list-style-type: none"> ・旅客⑬ドライブレコーダーの記録を利用した運転者の運転特性に応じた安全運転 ・旅客⑭ドライブレコーダーの記録を活用したヒヤリ・ハット体験等の自社内での共有 ・貨物⑬適切な運行の経路及び当該経路における道路及び交通の状況 ・[A]ドライブレコーダーの映像記録による勉強会 	<ul style="list-style-type: none"> ・社労士による労働法関連勉強会開催

※旅客①～⑩項目 貨物①～⑩項目 [A]～[H]：安全性評価認定取組事項